学校番号	３１５

令和２年度　保健体育科

教科	体育	科目	スポーツⅢ（男子）	単位数	１・２年：各１単位	年次	１～２年次
使用教科書							
副教材等	ステップアップ「高校スポーツ」　（大修館書店出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・武道（柔道・剣道）を学ぶ中で礼儀作法を身につけ，日常生活に活かそう。
・対人技能を学ぶ中で他者に対する思いやりや，感謝の気持ちを意識しよう。
・自他の技能を観察・分析することで，技能に対する興味関心を高め，技術の向上を目指す楽しさや，達成感を感じよう。

２　学習の到達目標

武道（柔道・剣道）の歴史を学び，礼儀作法や基本動作を身につけて技術を高めるとともに相手を尊重し，我が国固有の伝統と文化により一層触れる事ができる姿勢を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心･意欲･態度	b:思考･判断	c:運動の技能	d:知識･理解
観点の趣旨	・自らすすんで活動の楽しさや喜びを味わおうとする。 ・健康や安全を確保して主体的に取り組もうとする。 ・自他の技能を客観的に判断できる。 ・公正・協力・責任・参画などの態度を身につける。	・知識を活用し，技能の向上を目指す。 ・自己や仲間の課題に応じた運動をするための工夫ができる。 ・学習で得た成果を自ら応用・発展させる。	・技能の習得および向上に取り組む。 ・活動の合理的な実践を通して，武道の特性に応じた段階的な技能を身につける。 ・仲間と連携・協力して活動を楽しむ。	･技の名称や見取り稽古の仕方,課題解決の方法,活動を行う際の健康･安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 ・武道の歴史，文化的特性などについて理解している。
評価方法	学習状況の観察	学習状況の観察 レポート	技能観察 技能テスト	学習状況の観察 レポート

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1～2年	スポーツⅢ	武道の理解と実践 柔道・剣道から1種目を選択して学習します。	○	○	○	○	a:武道の学習に自主的に取り組もうとしている。 武道の持つ，伝統的な行動様式を大切にしようとしている。 自らの責任を果たそうとしている。 互いに助け合い，教えあおうとしている。 健康・安全を確保している。 b:自己の技能，体力の程度に応じた技術を身につけている。 提示された攻防の方法から，自らに適した方法を選択している。 周囲に対し，技術的課題や有効な練習方法などについて指摘することができる。 c:攻防を展開するため，相手の動きに応じた基本動作，基本となる技，得意技ができる。 d:武道の特性や成り立ち，伝統的な考え方について理解している。 ルールを理解し，簡易な試合の審判をすることができる。	学習状況の観察 技能観察 技能テスト レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが，学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。